

長屋から独立した“空堀の家” 完成しました！



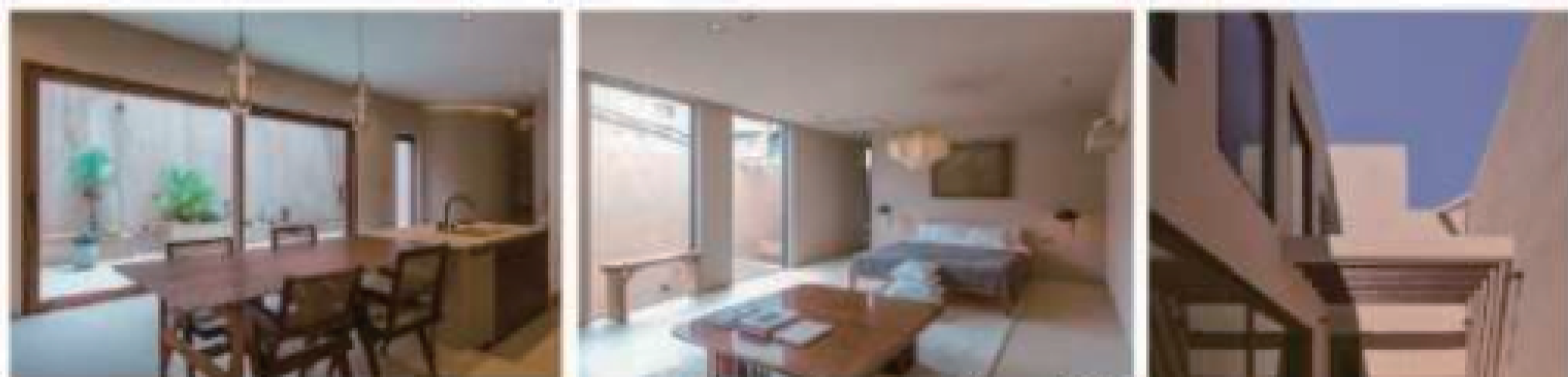
設計/VANZ

「レトロでおしゃれな商店街」で人気の空堀商店街。この現場は、その空堀商店街の北側に位置します。元は築年数の古い長屋の一区画でしたが、真側の棟とは切り離し、新たに3階建ての木造住宅を新築しました。

長屋の間であることからお察しの通り、敷地条件としてはとても狭小地となっていますが、限られたスペースの中、工夫を凝らしたプランニングとなっています。

平面的な広さが限られるので、縦方向に変化をつけて、空間的な広がりを出しています。1階には広々としたリビング・ダイニングを設け、階段回りは吹抜けに。1階と2階を区切ってしまわず、縦方向の空間につながりをもたせることで、明るく開放的な住まいを実現しています。設計の工夫で、光を取りづらい室内がこんなに明るくなりました。

コートヤードのある“深江の家” 完成しました！



住居設計
E-CD
田中

こちらの住まい、住まい手はデザイナーさんです。

大きなサッシの開口部や、スッキリとシンプルなかにも個性が感じられる隠された隅々まで計算された空間づくりへのこだわりが伝わってきます。

さらに、この住まいの大きな特徴は、高さ6mの壁で囲われた「コートヤード」。屋根がなく開放的な外部空間でありながら、建物に囲まれてプライバシーも守らコートヤードで、自分だけの外部空間を思い存分満喫できます。

住まいについての感想をお聞きしたところ、「一日の仕事を終えて家に帰るのが楽しみ」と話されていました。



おたより、ご感想、メールなど
お待ちしております。
お気軽にご連絡ください。

株式会社中土居工務店
代表取締役 中土居 理弘 info@nakadoi.co.jp

Nakadoi Corporation

株式会社 中土居工務店



☎ 06-6725-0520

Fax: 06-6725-0530

〒577-0816 東大阪市友井5-5-39

http://www.nakadoi.co.jp

建設士2名、大工10名、2月(木)~4月(木) 12:00~18:00 / 一階は土間、4階は空堀大堀り階段 (1) 第224号

心をこめて 夢を現実化に
家族と地球にやさしい家づくり

2022年 冬号

地域主義工務店がお届けする

ひまわり通信

2022年が始まりました！本年もよろしくお祈りします！



2022年、新しい年を迎えました。

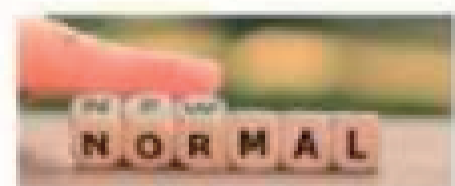
3年目となったコロナ禍。愛知県で感染拡大が気になり年明けとなりましたが、皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか？

今年も引き続き、ソーシャルディスタンスやテレワークなどコロナ禍での生活様式が継続され、それが今後のスタンダードになるのだと思います。人と人が直接的なつながりを持ちにくい期間が続きますが、色々な手段を使って、皆さんとつながりを持ち続けられるようにと思っています。

今年が皆様にとって、より明るく幸せな1年となりますように…。本年もどうぞよろしくお祈り致します！

“これからの住まい”に求められること

さて、テレワークが可能な人は在宅時間が長くなっていると思います。また、制限勤務でオフィスで仕事ができる時間が限られているものの、家では仕事ができないと言った声もあり、仕方なくカフェなどで仕事をすることも多いと思います。



この働き方の変化は、たとえコロナ禍が終息しても、ニューノーマルとして社会に定着し続けると言われていています。今後、オフィス以外でのワークスペースの確保は必須となり、それを住宅に求める流れは当たり前になるのだと思います。

また、コロナ禍以降、住まいを選ぶ条件として「身近に便利な生活利便施設があること」や「暮らし心地」などが重要視される傾向にあり、「駅近」や「都市に近いこと」、「交通利便性が良いこと」などが上位を占めていたランキングに変化がみられるそうです。

今後より一層、家で快適に過ごせて、電車で出かけなくても買い物ができるという「身の回りの充実度」を上げることが、楽しく快適な暮らしには大切になってくるようです。

もう元には戻らない生活様式を踏まえ、今後の暮らしをしっかりと見据えて、暮らしを見直すことが大切です。

そういった変化やニーズをとらえ、新たな補助金制度がスタートするなど、暮らし方改革を後押しする施策が盛り込まれています。

子育て世帯へのサポートが充実！

新築はもちろんのこと、リフォームについても種々の大きな補助金が用意されているのが、2022年から新しくできた「こどもみらい住宅支援事業」です。18歳未満のお子さんをもつご家庭であれば、新築なら最大100万円、リフォームでは最大60万円の補助金を国から受け取ることができます。



子どもがいても仕事ができるように間取りを変えたり、在宅時の快適性を高めるために省エネ改修をしたりと、リフォームでも使うことができます。

例えば、間取りを大掛かりに変えなくても、階段回りや廊下を活用してワークスペースを作るといったことも可能です。これなら手軽に実現できそうな気がしませんか？



これまでの長期優良住宅やゼロエネ住宅への補助金と合わせて、子育て世帯がよりお得に住まいの手入れができる補助金となっています。

普段、家の中で何かしらの「我慢」をされている方、いつでもお気軽に私たちに相談ください。